

令和4年度 卒業式

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。ご参列の保護者の皆様、ご家族の皆様、本日は誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

さて、高校生活を終え、これから新たな一歩を踏み出すことになる卒業生の皆さんに私から一つお話をしたいと思います。

私は、高校生のとき『ギリシア神話』に関する本を多く読みました。ギリシア神話に出てくる神々のうち、全能の神ゼウスとか、芸術の神アポロンなどの名前はもしかしたら聞いたことがあるかもしれません。そして古代ギリシアの人たちは、それらの神々を人間の姿に似せて絵画や彫刻で表しましたが、その中で少し変わった姿の神がいます。その神の名は「カイロス」といいます。

カイロスは、髪の毛が前髪しかなく、その前髪は束ねて前方へ垂らし、両肩と両脚には翼がついています。そしてこの神は、人の横を疾風のごとく一瞬で駆け抜けていく、と考えられていました。この足の早い神は、追いかけてつかまえることはできないので、つかまえるためには、その前髪をつかむことができるよう、前もって準備しておかなくてはなりません。

さて、この神はいったい何の神様なのでしょう？実は、「カイロス」は「チャンス」の神なのです。カイロスの前髪しかないという特徴的な姿は、チャンスはやって来てから準備をはじめようでは、到底つかまえることはできない、ということを示唆しています。

「カイロス」の前髪をしっかりとかみ、巡ってきたチャンスを生かすためには、前もってしっかり準備しておくことが大切です。

これから新しい世界へ踏み出し、自分の夢の実現を目指していく中で、うまくいかないことや、こんなに頑張っているのに成果が出ない、と悔しい思いをすることもあるかもしれません。そのようなときも、途中であきらめたり、投げ出したりせずに努力を続けていってもらいたいと思います。チャンスの神は必ず訪れます。

その一瞬をつかむことができるかどうかは皆さんの日々の努力次第です。

卒業生の皆さんの努力が幸多き未来へとつながることを祈念し、式辞といたします。

令和5年3月19日

広島市立広島みらい創生高等学校長 井林 秀樹